

## 協同組合が連携し、フードバンク岡山に食料品を寄付

新型コロナウイルスの影響で生活が困窮している家庭や子ども達を支援しようと、県内の協同組合が連携してNPO法人フードバンク岡山に食料品を寄付しました。

2月14日(月)岡山県農業会館(岡山市)にて贈呈式が行われ、各組合代表から同バンク系山智栄理事長に、岡山県産米や海苔、干し椎茸、レトルトカレーや菓子などを贈呈しました。食料品は農協、漁協、森林組合、生協の4団体で構成された岡山県協同組合連絡協議会が用意しました。



県生協連の平田会長理事(左)から  
フードバンク岡山の糸山理事長(右)  
へ贈呈

フードバンク岡山は、企業や個人から無償で受け取った食品を、県内の児童養護施設や子ども食堂に配る活動を続けています。コロナ禍で必要としている人は増えており、要望に応じて準備された贈呈品は、県内の子ども食堂を通じて、生活が困窮している家庭や子ども達に届けられます。

### 県生協連の贈呈品

- 「ビーフカレー」甘口 及び 中辛  
5個パック (各100袋)
- ジュース「ミックスキャロット」  
12個入 (100ケース)
- 「ぴよっちサブレ」及び チョコ菓子  
「チョコ坊たち」(各100個)



同バンク 糸山理事長より、「今回の支援で、コロナ禍の状況を知っていただけるとうれしい。地元でつくったものを地元の人が食べて、顔が見れるかもしれないという距離感で、人を支えるというのが一番いいなと思います。」とごあいさつがありました。



(左から)岡山県漁連 井本会長、岡山県農協中央会 青江会長、  
フードバンク岡山 糸山理事長、岡山県生協連 平田会長理事、  
岡山県森連 池田専務。(写真撮影時のみ、マスクを外しています)

これからも、協同組合で協同した取り組みをすすめてまいります。

岡山県協同組合連絡協議会は、1996年7月設立以降、相互扶助の精神で、協同組合運動の普及・推進を図り、協同組合の理解促進を図る活動を展開するとともに、SDGsの目標達成を目指した取り組みも進めています。(構成団体:岡山県農業協同組合中央会、岡山県漁業協同組合連合会、岡山県森林組合連合会、岡山県生活協同組合連合会)